事例No.	1915
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	高知県

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・人材確保・育成

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

県立病院の再編

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【高知県】
県立病院の再編

広域化等　病院事業

高知県公営企業局県立病院課

● 取組の概要

県立病院（安芸病院・芸陽病院）の統合により、精神単科病院の廃止・統合（病床規模の適正化）や中核病院としての医療機能の充実などが図られた。

◆総事業費　建設費80億円、医療機器・電子カルテ整備費26億円

◆背景

- 安芸病院・芸陽病院は施設等の老朽化が進み、早急な施設整備が求められていた。また、公立病院に対して、真に地域に必要な医療を将来にわたり継続して提供するためにも経営の健全化が強く求められてきた。
- このため、安芸保健医療圏の中核的医療機関として効率的かつ持続可能な経営を行うことができるよう両病院を統合し、新たな県立病院として整備することとした。

◆具体的内容

- 安芸保健医療圏の他の医療機関との連携のもと、地域で必要とされる一般的医療、中でも特に急性期の医療に重点を置いた役割を担い、高度専門的な医療については大学病院や高知県・高知市病院企業団高知医療センター等との機能分担と連携のもと、その役割を果たしていくこととした。
- 精神単科病院である芸陽病院を廃止・統合し、県全域を対象とした精神科領域にかかる政策医療への対応は高知県・高知市病院企業団高知医療センター（高知市：中央保健医療圏に所在）に委ね、新病院は安芸保健医療圏における一般的な精神科医療において中心的な役割を果たすこととした。

◆効果

- 開院後、救急車搬送件数及び手術件数が増加しており、医療の質的向上が図られ地域の中核的医療機関としての機能を発揮している。
- 常勤麻酔医の確保や循環器医師の複数名確保が実現したことから、より一層の質的向上が期待できる。

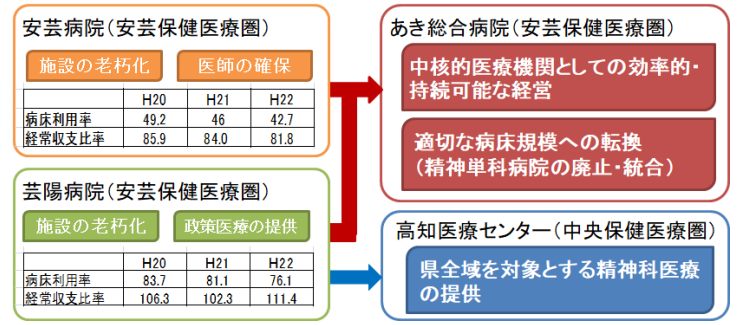
● 取組のポイント

- 高知県保健医療計画を策定する高知県（健康政策部）など、関係機関と連携を取りながら県立精神病院のあり方について検討を行い、高知県・高知市病院企業団高知医療センターと精神科機能を分担することで、精神単科病院を廃止・統合し、病床規模の適正化を図った。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　42,585 人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　1,128.47km²（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　270床（令和3年度決算）

統合のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成18年度に建替基本構想を作成し、平成20年度に基本方針を策定。
- 平成22年度に病院本体工事を発注。
- 平成24年4月に安芸病院・芸陽病院を統廃合し、高知県立あき総合病院を開院（病床数348床）。同年8月に新精神病棟の供用を開始。
- 平成26年2月に竣工。同年3月に病床数を270床に変更し、身体科病棟の供用を開始。

● 今後の展望

- 開院後、地域の医療提供体制の弱体化が急激に進んでおり、民間医療機関を含む地域の医療機関に対する県立病院医師の派遣（診療応援）などのこれまでにない新たな役割を果たすことが求められている。